

試合会場レポート

[試合番号]A5

[開催日]2014/05/11

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]14:03

[終了時間]14:50

[試合時間]0:47

[主審]樫村 雅美

[副審]横須賀 威之

[記録員]阿部 幸次郎

女子：決勝戦

土浦日本大学高等学校

監督：石崎 吉宏

コーチ：

2	25	第1セット 【0:19】	15	0
	25	第2セット 【0:25】	19	
		第3セット 【：】		

常総学院高等学校

監督：長谷部 勝弘

コーチ：齊藤 篤

【 】内はセット時間

戦評

昨年と同じ顔合わせになった両チームの対戦は土浦日本大学高等学校が秋山、山中の両エースを欠き、接戦が予想された。

第1セット立ち上がりから土浦日大は横山のサーブで攻め、小島のレフトスパイクから2-0とリードした。土浦日大のセッター山下は思い切りよく両サイドから攻め常総学院高等学校の守りを崩し、菊地がライトからインナーにスパイクを決め5-1とリードを広げたところで常総学院が1回目のタイムアウトを取る。その後も土浦日大は菊地のサービスエースなどで9-2とリードを広げ、常総学院は2回目のタイムアウトを取る。土浦日大の高さを活かした厳しい攻撃に対し、常総学院は守りのミスも重なり一時は20-7と一方的な展開になった。常総学院はレフト村井が必死のスパイクで応戦するが、最後は土浦日大田崎の高いセンタースパイクが決まり、25-15で土浦日大が第1セットを先取した。

第2セット、常総学院はレフトから村井、ライトから松本がスパイクを決め、硬軟織り交ぜた攻撃で土浦日大の守りを崩し、5-10と常総学院がリードを広げたところで土浦日大が1回目のタイムアウトを取る。常総学院の揺さぶりに対し、二段トスが安定しない土浦日大に動揺が走り、8-15とリードを縮めることができず、たまたま石崎監督はエース山中を投入する。すると山中のレフトスパイク、長身田崎の速攻、菊地の思い切りよいサーブが決まり徐々に点差が縮まった。山中はサーブでも常総学院を崩し、17-18と土浦日大が1点差に詰め寄ったところで常総学院が1回目のタイムアウトを取る。なおも勢いに乗る土浦日大は、その後もピンチサーバー大林が常総学院の守りを崩し、古谷の速攻が次々と決まり、一気に25-19でこのセットも連取して7年連続の優勝を決めた。

土浦日大はエース秋山を欠いて苦しい戦いであり、中盤まで常総学院ペースで試合が進んだが、山中の投入が勝利の決め手になった。